

広報

ひがしうらかわ



昭和51年生 25人
安江和隆さん (陰地)



昭和15年生 54人
今井正道さん (大口)



明治36年生 2人
今井みやゑさん (大沢)



昭和63年生 41人
安江 基さん (平)



昭和27年生 41人
岡田 小鈴さん (大明神)



大正5年生 24人
大坪とよさん (上親田)

2000年は
辰年で始まった



昭和39年生 36人
安江敏之さん (柏本)



昭和3年生 38人
安江久子さん (宮代)

新年

—みんなの知恵で 進める新世紀—

東白川村長 安江啓次



新年明けましておめでとうございます。

希望に輝く二千年を迎えて、村民の皆様のご健康と、ご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、村民の皆様のご支援をいただき、東白川村長として未熟ながらスタートできましたこと、心から感謝申し上げます。村内外では、景気の低迷が長引くなか、不幸な事件や災害等発生し、被災された地域の皆様には心からお見舞い申し上げますが、私の公約は、常にプラス発想でございます。

二度と同じ過ちを体験することのないよう、万全の体制をお願いしながら、前向きに村政を進めさせていただきましたが、幸い村の青年の皆さんの活躍が活力を与えてくれました。

春には、消防第一部自動車ポンプの皆さんが、十一年ぶりに加茂郡消防操法大会に優勝、岐阜県消防操法大会に活躍してくれましたし、秋には、青年軟式野球チームの皆さんが、十九年ぶりに岐阜県青年体育大会で優勝、全国青年大会に出場し活躍してくれました。

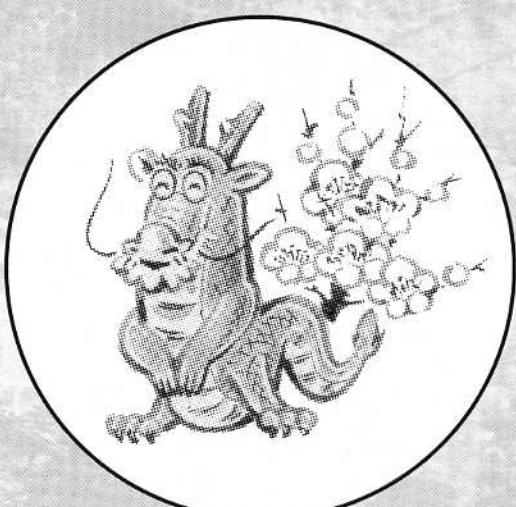
初冬には、全国農村アメニティコンクールの表彰式において、東白川村が岐阜県では十二年ぶりに、全国表彰である優秀賞を受けました。この受賞は、「村内の各団体や組織が中心となつて、緑豊かな自然環境をみんなで保全し、快適な生活を営める工夫をしている」とが対象となりました。

私は、夢と活力を、村民に与えてくれた皆様に感謝し、新しい年を「一生懸命」をモットーに頑張ります。

いよいよ二千年の幕開けてございます。

これからは、村民一人ひとりが、真の豊かさと安らぎを実感できる地域を築いていかなければなりません。そのためには行政だけではできませんので、引き続き、皆様の知恵と工夫をご教授くださるようお願い申し上げます。

新世紀は、村民の皆様と共に課題に向かって努力し、輝かしい村を築くことをお約束し、年頭のご挨拶とします。



謹賀

—新しい時代の幕開け—

村議会議長 安江康助



村民の皆様、明けましておめでとうございます。

希望に満ちた平成十二年、西暦二〇〇〇年の新年をご家族お揃いで健やかにお迎えのことと、お喜び申し上げます。

過ぐる一九九九年は、皆様のご指導とご叱責を賜りまして、統一地方選挙後の新体制のもと「議論あっての議会」を信条に新進気鋭の若手議員六名とともに全員一致して、良き伝統の上に「個性ある議論の場づくり」を目指して参りました。そんな取り組みの一端が理解され、多くの皆様に議会傍聴という形で、関心を向けていただけましたことについて、民意による開かれた議会に一步近づけたのではと、喜んでおります。さて、期待と不安が交差する二十一世紀がどんな時代になるのかは、私達の向き合う姿勢一つにかかると思います。

西暦二〇〇〇年は、その最後の助走期間であり、地方分権による町村合併等山積する課題に向け、農山村として守り受け継いだ東白川村の選択すべき新たな進路に対し、将来を見極める重要な年であると言えます。

我々、議員一同諸先輩の指導を仰ぎながら心新たに当面する課題に対し全力で取り組む決意でございます。また、白川、加子母、東白川村の三町村による白川流域連合の堅持は、今後多方面においても有効な発言権を持つものと確信しています。

そして、いつの時代も子供たちの未来は輝いていなければなりません。「二一世紀は自然科学で近代化を推し進めようとする時代ではなく、歴史や伝統、自然とか人間を知り尽くした人がリーダーであるべき世紀がきた」と言わるとおり農の「福祉力」、農の「教育力」が高齢者皆さん的能力によっていよいよ發揮できる時代に入りました。

安江村政の公約である「最小の経費で最大の効果」を、議会としても、民意の上に立って進めて参る所存であります。最後に村民各位のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつに代えさせていただきます。

12支中

唯一架空の動物

12支の5番目の干支である辰(たつ)は、12支中のただひとつの空想上の動物です。一般には「龍」と書き「タツ」「リュウ」と呼ばれています。日本では龍は神聖視されており、古代神話にも龍が登場しています。辰年にあやかって、飛躍の年にしていきたいですね。

平成十一年度「海外派遣職員研修」の中濃圏域視察団の一員として十月五日から十一日間、環境対策の先進国ドイツを視察研修させていただきました。前号に続きフライブルグ市、アウグスブルグ市、ミュンヘン市の現状を報告させていただきます。

自然との共生を目指す町

エコボリス・フライブルク市

ワインと森、ゴシック建築の町フライブルグ市（人口二十万人）は、環境に重点を置き人間が自然と共に生ずるエコボリスの実現にむけて様々な環境行政が進められています。

自動車に替わるものとして、公共交通機関利用の奨励、自転車利用の奨励が行われ、自転車専用道路の整備、自転車置場の増設など自動車交通可能な限り減少させ、環境に優しい公共交通機関と自転車の促進を目指しています。

市のゴミ、廃棄物対策の特色は空気汚染の理由から焼却する方法を一切とらない方針で進められ、基本的にはゴミを出さない対策を前提に、減量化とりサイクルシステムを官民共同して進めました。この対策により、建築資材を含むゴミの排出量は毎週九千ト

平成十一年度「海外派遣職員研修」の中濃圏域視察団の一員として十月五日から十一日間、環境対策の先進国ドイツを視察研修させていただきました。前号に続きフライブルグ市、アウグスブルグ市、ミュンヘン市の現状を報告させていただきます。

海外派遣職員研修

ドイツの環境対策



フライブルグ市の町並と中濃圏域視察団員

歴史的景観の保全と新しい町づくり

フライブルグ市は歴史も古く、石畳とゴシック建築の教会があり、中世の面影を残す若々しい雰囲気の町です。

市は、旧市街地と新市街地に区分され保存整備と開発地区に分けて計画的に行われており、他の都市に先駆けて環境都市にふさわしい様々な町づくりを進めています。

市における町づくりの考え方として三十六年間都市計画に携わってこられた都市建設ディレクター、パウルベルト氏の話では①歴史的建物を文化の象徴として町の中に保存する②町の伝統歴史を尊重し新しさと革新性を取り上げ、町の中へ息吹を吹き込む③町の中にできるだけ住民が居続けること。などを目標に都市計画を進めているところでした。

歴史的景観の保全は、古都条例により厳しく制限されており、建物の高さ、屋根の形状や勾配、外観、色も決められています。

ノン以上排出され、この内三分の一以上が再利用され、残りは埋立処理されています。

エネルギー対策として、ゴミの埋立地から出るメタンガスにより発電、地域暖房がされ、ランドヴァッサー地区九千人に供給され、需要量の七〇%をカバーしているとの説明でした。

十二月

1日(水) 全国町村長大会（東京）
N H K 収録風景見学

2日(木) 藤井孝男代議士との懇談会
全国簡易水道促進大会

3日(金) 全国山村振興連盟総会
総務課鉄塔事業入札会
ふるさと企画株主懇話会

4日(土) 東白川小学校音楽発表会
ふるさと企画株主懇話会
交流ターミナル打合せ

5日(日) ふるさと企画株主懇話会
五加区役員組長合同会議

6日(月) 渡邊泰司君結婚披露宴
農業委員会総会

7日(火) 広域基幹林道県へ陳情
農業委員会懇親会

8日(水) 补正予算ヒヤリング
農業委員会研修会

9日(木) 下親田集落葬儀参列

10日(金) 東白川消防団幹部会
いきいきゼミナール

11日(土) 岐阜部品社長との懇談
総合ターミナル用地検討会

12日(日) 住宅入居希望者面談会
東白川商工会懇親会

13日(月) 古田榮作ご夫妻来庁懇談
ふるさと企画交流会

14日(火) 瀧川村長・今井町長と懇談
(株)東白川役員桂川氏来庁

15日(水) 商工会土木部会懇親会
東海農政局山振現地調査
住宅対策入居者審査会

奮闘記

アウグスブルグ

破棄物利用管理会社

三番目に視察したアウグスブルグ市は人口二十六万人。ドイツ最古の都市の一つで歴史的建物も多く、世界最初の社会福祉住宅（低所得者のための住宅）などがあり、ディーゼルモーターのルドルフ・ディーゼル、ジェット飛行機を開発したメッサーシュミット教授の町として有名です。



アウグスブルグ廃棄物利用管理会社



ミュンヘン市庁舎付近のフリーマーケット

会社の方針として①ゴミを出さないように努力し、②ゴミが出た場合には専門知識をもつて処理をする③ゴミを焼却したり処理する上で一番効果のある方法で行う：を目標に掲げて行われています。

焼却した後に出る煙は、四段階に洗浄され、空気の内容をたえず分析して放出されている。

歴史的建物を保護しつつ

都市機能を図るミュンヘン市

視察研修の最終訪問地ミュンヘン市は人口百三十二万人の大都市でバイエルン州の州都です。第二次世界大戦で中心部八三%、周辺三八%が破壊され、ゴミの分類やリサイクル、焼却など年間取扱量は三十七万トン、従業員百五十名で行っています。



ノイシュヴァンシュタイン城（白鳥の城）

クスタジアムが代表する新しいものが共存する大都会となっています。

都市計画では、高層建物の建設を制限し、周囲とのバランスを考え、歴史を反映した町づくりが進められています。特に、歩行者天国の整備とアーケードを付けないことで、ただ店舗があるだけでなく、自然の光を浴びながらゆっくりと歩いたり、買い物をしたり、休息する場所があるという形を取り入れられています。

今回訪問した都市は、いずれも長い歴史の上に成り立っており、文化や伝統、自然環境を誇りにし、自分たちの国を真剣に良くしようとする意気込みが感じられました。今回の視察研修に参加させていただき、機会を与えていたいたい村の配慮に感謝申し上げ、現地で得た貴重な体験を今後の職務に生かして行きたいと思います。

十二年度予算編成検討会
農村アーニティ調査来庁
可茂上木事務所挨拶
県厅農林水産局打合せ
農協とスタンド茶工場検討
可茂上木事務所挨拶
県厅農山村整備局来庁懇談
県農畜産公社理事長来庁
村文化協会役員来庁懇談
陰地村づくり委員会
板山集落日向集落葬儀参列
てんとう虫産直市

16日(木)

17日(金)

18日(土)

19日(日)

20日(月)

21日(火)

22日(水)

23日(木)

24日(金)

25日(土)

26日(日)

28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)	10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)
年未夜警勵巡視	御用納め式	中津川警察・消防署訪問	可茂一部事務組合会議	市町村長懇親会	可茂市町村長合同会議	議会全員協議会	東白川消防団幹部との懇談	村青年団体連絡協議会来庁	東白川郵便局長来庁懇談	農業生産者来庁懇談	濃飛バス社長来庁懇談	村生活安全協議会	村商工会幹部来庁懇談	介護保険制度検討会	東白川郵便局長来庁懇談	農業生産者来庁懇談	濃飛バス社長来庁懇談	村文化協会役員来庁懇談	陰地村づくり委員会
19:30 16:30	10:00	17:30	18:00	17:00	10:30	16:00	13:00	18:00	17:00	10:30	11:30	13:00	15:00	10:30	11:30	13:00	15:00	13:00	15:00
13:00 13:30	13:30	10:00	10:00	10:30	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	9:00 10:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00
年未夜警勵巡視	御用納め式	中津川警察・消防署訪問	可茂一部事務組合会議	市町村長懇親会	可茂市町村長合同会議	議会全員協議会	東白川消防団幹部との懇談	村青年団体連絡協議会来庁	東白川郵便局長来庁懇談	農業生産者来庁懇談	濃飛バス社長来庁懇談	村生活安全協議会	村商工会幹部来庁懇談	介護保険制度検討会	東白川郵便局長来庁懇談	農業生産者来庁懇談	濃飛バス社長来庁懇談	村文化協会役員来庁懇談	陰地村づくり委員会

元気村の『出来事情報』



▲12月8日の渡辺先生の講話

第一回は、児童期家庭教育学級生の皆さんに十一月二十六日「キラキラと目の輝く子どもを願って」と題し、井戸均先生からお話をうながしました。

第二回十二月二日には、内田晴代先生に「見つけよう！私にできるボランティア」を、第三回は十二月八日に渡辺哲雄先生から「古いの風景」と題してそれをお話いただきました。

自らのボランティア活動や、介護体験

の話は、これ

から私たちが直面していく課題です。どの講演も多くの事を考えさせられる内容でした。

第一回は、児童期家庭教育学級生の皆さんに十一月二十六日「キラキラと目の輝く子どもを願って」と題し、井戸均先生からお話をうながしました。

第二回十二月二日には、内田晴代先生に「見つけよう！私にできるボランティア」を、第三回は十二月八日に渡辺哲雄先生から「古いの風景」と題してそれをお話いただきました。

三級ホームヘルパー養成研修会が平成十一年十一月二十九日から一月に渡って行われています。

この四月から介護保険が始まることや、村の人々に福祉をよりよく理解していただくため

の第一歩として進められたこの養成研修は、初めからたくさんの中申しがあり、先着で三十名を決めるほど、関心が高いもりとなりました。昨年の十一月から始まった研修には、皆さんは熱心に参加され、養成研修五十時間にチャレンジ中です。その中には老人福祉制度や家事援助などの講義をはじめ、介護技術入門の実技研修やヘルパー同行訪問などを行っています。

さて、研修生となられた皆さんのきっかけは様々ですが、やはり『高齢者社会』に向けて、自分にできることを」と考えてみました。研修に参加した日向の安江里香さんは「以前、



この冬の新製品、竹入りもち（白川屋）

講話 イキイキセミナー

毎年行われます「いきいき村民ゼミナール」が今年も開催され、たくさんの方の聴講があり

研修 ホームヘルパー資格を取得しよう



▲熱心に講義を受ける皆さん

◆サンシャイン美濃白川での実習風景



は私達も通る道です、少しでもお役にたてるようになれば」と、今回の研修に意欲を燃やしてみえます。

デイ・サービスの見学と実習会場となった、白川町のサンシャイン美濃白川では、班別行動でホームのお年寄りに爪切り、耳掃除、入浴の世話などを行いました。「講義を聞いて耳で理解していても、実際行うのとは全然違います」と、ホームでの実習された皆さんは、短い時間に多くのことを吸収しようとがんばってみえました。高齢者の多い東白川村も、心強い味方がたくさんでき、一安心です。

話題集まれ！



▶持久走・小学校
三・四年男子の部
「加茂駅伝」女子
の部



十二月十五日と十六日の両日、東白川小学校では「持久走記録会」が開催され、低・中・高学年に分かれタイムを競いました。その結果は、男子が十位、女子が十位でした。

寒さの厳しい天気でしたが、児童たちは半袖半ズボン姿になり、校庭や校舎周辺のコースを走り、記録への挑戦です。

応援に来ていた父兄や仲間の声援を受けながら走る子供たち、頬を真っ赤にしながら声援に応えがんばっていました。

走る 寒さに負けず 記録への挑戦

走る

十二月五日に加茂駅伝が美濃加茂地区で開催されました。

今回は、三年振りに結成できた女子チームも合わせ、男女揃ってのペア出場となつた東白川中学校チーム。短期間の練習にも関わらず最後まで完走した姿は立派でした。

女子が十位でした。

白川茶 五加茶生産組合 「敷き草コンクール」

▲茶園審査のようす



平成十年から国のがいドライン表示の認定を受け、無農薬茶の生産に組合員一丸となって取り組んできた五加茶生産組合では、十一月二十八日、産地で初めての「敷き草コンクール」が行われました。このコンクールは、組合員六十六箇所の茶園を対象に、朝八時から一日かけて、『敷き草の状況』『秋整枝等の管理』『茶葉の育成状況』の三点を審査項目にして、可茂農業改良普及センター、JA東白川支店、役場産業振興課が審査を行いました。

敷き草は、「雨による肥料の流亡」を防ぐ、「夏期の地温上昇と乾燥を防ぐ」、「冬期の地表の凍み上がりを防ぐ」、「土を軟らかくして根が好む酸素と水分を供給する」といった様々な効果があります。コンクールを実施した古田組合長は「敷き草コンクールを実施しながら優良茶園を増やしていく無農薬茶の品質向上を目指して有機農業に取り組んでいきたい」と次期に向けて夢を膨らませておられました。

結果報告会は、二月十一日の総会で発表・表彰されます。



▲優良賞に輝きました

表彰 農村アメニティ 優良賞受賞

表
彰

東白川村が国土庁（地方振興局）の表彰を受けました。

この表彰は、本村の緑豊かな自然や歴史風土等を基盤としてとりと潤いとやすらぎに満ちた居住快適性（農村アメニティ）の確保に配慮し、農村環境の整備を進めるために必要な、環境整備事業（道路、法面の草刈り、水路の土砂出し作業）、各集落で行われる花かざり運動又、各公園を使った「つちのこ検索大作戦」「夏祭りザ・五介」等の各種イベント、公園管理作業等に対し県知事の推薦を受け国土庁へ応募しました。

書類審査、現地調査を受けた後、全国で十地区が優良事例として選定され、東白川村もその中にいることができました。

昨年十一月二十四日に、村長、県関係者が上京。みごと優良賞を受賞しました。

この表彰は、岐阜県では奥飛騨の大野郡白川村が、昭和六十二年に受賞して以来十二年目のことであり、東白川村の地域住民の自主的活動が高く評価されました。

なごやか村の「人情報」

お便り

「高専での5年間と成人になって思うこと」

国立岐阜工業高等専門学校 今井 克武



五年前、高専に第二希望の機械工学科に入学しました。入学当時はよかったです。求人数も不景気の影響を受け厳しく、今では第一希望の土木系ではなく機械系に進んでよかったです。

この五年間は寮生活でした。最初はつらい日々でしたが、言葉遣いや気配り、挨拶の大切さを先輩から教えて頂きました。又、大好きなバスケットボールを続けることができ、全国高専大会で三位になりました。高専生活を健康で有意義に過ごせたのも、寮生活と部活のお陰でした。多くの方に接したことで、考え方など講義では学べない大切な人間性を学ぶよい経験となりました。それと同時に高専は恵まれた環境だということに気付きました。

昨年の秋、お陰様で就職内定が決まり、現在少しずつ準備を進めています。それに入社に先立ち、先日成人いたしました。社会人としての自覚を持ち、社会に大きく貢献したいと思っています。今後も学習することを忘れず、日頃鍛えた体を源として、又今まで見て聞いて考えることは正しい行動へつなげていきたいです。最後に、友人・先輩・先生・そして東白川から見守っていてくれた家族への感謝の気持ちを忘れずに、人生を全うしていきたいです。



チョロちゃんは可児と東白川に家をもっています。(陰地 小林博さん家のベット)

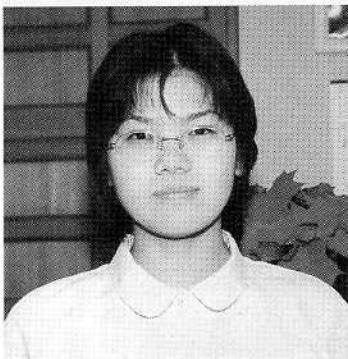
成人式での今井さん▼



安江 由紀さん

(神戸平・22歳)

熊崎歯科医院 勤務



フレッシュさん

仲間をたすねて

「通勤はもっぱら自転車を愛用します」と、元気な由紀さんをご紹介しましょう。

○異性の好きなタイプ
背が高く、話のうまいやさしい人。芸能人なら織田裕二。

○結婚について

形にはまることがにがてなので、結婚で縛られたくない。

○休日の過ごし方

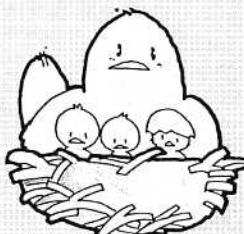
友人と映画や買い物をしてます。

○今の仕事について

仕事にも馴れだし、いい人に囲まれ仕事ができうれしい。

○夢は
動物に関わった仕事がしてみたい。

▲安江 未緒ちゃん
(孝洋さん・章江さん
=平)



みんな仲間だ！

戸籍の窓 12月1日～12月31日

(敬称略)

●誕生おめでとうございます

(中通) 村雲 章りの
千草 梨乃

(柏本) 田口 昌克智世

サンタロ・サンサー

(曲坂) 桂川 憲生景
こずえ

●おくやみ申し上げます

安江 理市 94歳 (下親田)

桂川 喜郎 74歳 (柄山)

安江 勇爾 82歳 (日向)

今井美枝子 42歳 (日向)

新田 利一 72歳 (平)

曲坂
渡邊泰司さん・友紀さん

20
ツーショット
新婚さん

二〇〇〇年のお正月をお二人で迎えられたのは、昨年十二月五日に結婚された渡邊さんご夫婦です。出会いは二年前、青年の集まりラガードリームで知り合い、グルーピングが始まつたお二人。「始めから話やすい人で」



職場から

食べてみて！
こだわりの味噌とたまり

自分の手で作れるものを…と、大豆から育てて味噌作り、醤油作りに精を出してみえる陰地の田中屋さん(安江浩さん)へ伺いました。

70歳まで仕事をされたお母さんは50年間、奥さん佐智子さんの代で25年、味噌とたまりを中心に仕事を続けてみえます。作るのなら安心できる豆から作り始めようと、加子母村の農地を借りて、一から自分の手で行い、混ぜる塩も天塩立て、とことん自然農法です。奥さんは、アメリカやニュージーランドへ農業視察をされるほど研究熱心で「お客様さまから、おいしい」と言っていただくのが一番うれしいそうです。

「いつでもお分けします。一度食べてみて下さい」とご主人の浩さんがP.R.



と奥さんが話されると、「しっかりしているところがよかつた。」とご主人。「家族が友達関係でいられ、明るい家庭を作りたいし、子供は一人欲しいですね。」と、家庭設計の意見も一致しているようです。奥さんのおめでたで結婚が決まり、二重の喜びをいっぺんに手に入れられたお二人の共通の趣味にスキーがあるそうですが、三月の赤ちゃん誕生を控えて、しばらくはお預けのようです。朝起きしてお弁当作りや、慣れない家事に励む奥さんにご主人が「料理で一番おいしいのは、肉じゃがだね」と優しく声をかけられるところは、さすが新婚さん。

ホットアシガル



日本で一、二の大好きなクレーン車が村へやってきました。このクレーン車は建設に、陰地吉岡屋さん側にて活躍しました。

見上げる高さです。写真は、日向側の高台から見下ろしたところで、今では橋の骨組みもわかるほど工事は進行中です。日向バイパスも二十一世紀初めには完成し、下呂、中津川方面への交通路がますます便利になります。



保健婦
だより

あなたは、よく噛んで 食べていますか？

現代人は、よく噛まないでご飯やおかずを食べる早食いが増えています。

噛む回数が多いと、消化・吸収がよくなり、早く満腹感を覚えるため、肥満予防になります。又、口の動きが脳を刺激し記憶力が良くなる効果もあります。

乾物、海草など噛みごたえのある素材を使ったり、大きめに切るなどし、最低でも1口10回は噛むように心掛けましょう。

「よく噛んで、食べれば健康
楽しい我が家」

便利帳

納豆嫌いを克服！

コウジ納豆の作り方

コウジを使って納豆をおいしくする方法があります。お粥一合にコウジの小袋一袋をいれてもみ込みます。市販の納豆二十個に塩を大さじで軽く十杯入れてよくかき混ぜ、これをコウジ入りお粥とよく混ぜ合わせます。三日も寝かせると食べられるようになります。

納豆が適当に柔らかくなり、臭みが消えてコウジのうまみがなんじんできます。甘酒のようなほのかな甘みがありますが、気になるものではありません。

物知り堂

左ヒラメ右カレイ？

鰯は、幼魚のうちは普通の魚のように眼が体の両側についていますが、成魚になると片側に移って 眼のないほうは、砂底につけるので白くなり眼のあるほうは上になって砂といっしょの保護色になります。鰯も同様ですが、左ヒラメ右カレイの俗信があります。がそれは、絶対ではないようです。

おめでとう

ございました

選挙管理委員会の委員長、また職員として、選挙の執行及び選挙の啓発事務に永年従事されている功績が認められ、昨年11月自治大臣感謝状を受賞されました。



神土平
安江 公平 さん

国民年金の加入について

日本に住む二十歳以上六十歳未満のすべての人は、国民年金への加入が義務づけられています。二十歳を迎えたばかりの皆さん、「年金」なんてまだ先の話と思うかもしれません。実は、若い世代にとっても、身近で大切なものです。

国民年金は、働く世代が納める保険料でその親の世代の生活を支え、自分たちの老後はその子どもの世代が支えるというように、世代と世代の支え合いによって成り立つ公的年金制度です。少子化。高齢化が進んでいる現代社

会では、もし、公的年金がなかつたら両親の生活費を負担したり、自分の老後に備えて貯金することは、今よりずっとたいへんになります。公的年金制度は、そうした個人の負担を軽くし、子どもの世代みんなで親の世代を扶養する仕組みになっているのです。

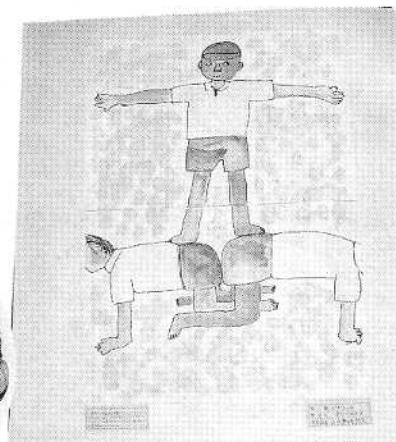
公的年金のメリットは、物価の変化に応じて年金額が改定され、生涯にわたって支給されるということです。また、老後に受け取る老齢年金だけではなく、加入期間中に病気やけがで障害年金、加入者が死亡したときには、残された妻子に遺族年金として支給される仕組みもあり、生涯にわたって家族の

安心を守る柱となっています。国民年金への加入手続きは、市区町村役場の年金窓口で受け付けています。学生やフリーターの皆さんも、二十歳になつたら自分で、加入手続きを行ってください。二十歳前に就職し、職場の厚生年金や共済組合に加入している人は、新たに手続きする必要はありません。保険料をきちんと納めていないと将来、自分が受け取る年金額が少なかつたり、最悪の場合、年金が受けられなくなったりします。所得の無い人にはその期間の保険料を免除し、後で納めようができる制度もあります。

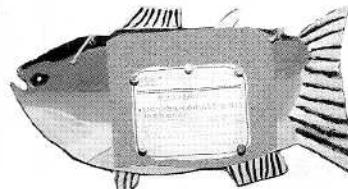
心
の
オ
ア
シ
ス
ダイジェスト



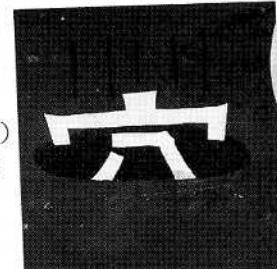
▲美しい形の構成「バナナ」
安江 紳さん（下親田）
東白川中学校1年生



▲運動会の絵「ピラミッド」
熊崎将大さん（神付）
東白川小学校5年生



▲メモボード
「キングサーモン」
杉田大和さん（柏本）
東白川小学校4年生



東白川中学校2年生
笛俣敬司さん（日向）
▼アートする文字「穴」

本



P. マクラクラン 著

僕のおじいちゃんは、目がみえないんだ。でも、おじいちゃんなりのやり方でものを見ているんだ。僕も目を閉じて、おじいちゃんのやり方でやってみるともの音やにおい、ぼくのゆびさきが、たくさんのことをおしえてくれるよ。



短

歌

※皆様の作品をお寄せ下さい。ご投稿は毎月二十日までに
越原陰地安江嘉久一宛に、お出し下さい。
洗濯干す度に仰げる青空に暁の月浮く日毎細りて
母の植えし秋明菊今年も咲けり母亡き後も株は植えつ
並びたる品評会の金賞もそうでなき野菜も皆つややかに
仕事着の紺のモンペたたみつつまた来る春に夢をあずけむ
忌のうちは棟に宿るとう婿のみたま野辺へ送りぬ五十日祭
来む年を生きて播かむと数々の物種しまう名札をつけて
せと物の並ぶ出店に福猫の目と目が合って買って帰りぬ
伊藤 美枝

内木 かずみ
田口 かずみ
三戸 きり
安江 龍玉
安江 節子（平）
早瀬 久子
安江 とくよ
安江 かな
安江 嘉久一
小林 道子
今井 かな
今井 米子

病める人逝く人あれば朝夕を明日に向いて我が躬戒む
書けるかな不安乍らも生きぬかむと二年日記また貰いもどむ
言葉云えぬ人と手まね表情に昔語りす旅の道すれ
飛驒の宿に泊めるし車その屋根に一夜の落ち葉のせつつ走る
黒ずみし注射のあととのやつと癒えし腕にしみつつ秋の風吹く
道すがら拾ひしもみじと遊ぶ道落葉のうたを孫どうたいつ
衰へし我が目は文字を書く度に大字になりて少しまがりぬ
散り溜る枯葉のうごきかすかなり蛙沢蟹のかくれ家にして
山かけに煙たなびき草燃やす友の烟ははや陽のかける
安江 とくよ
安江 かな
安江 嘉久一
小林 道子
今井 かな
今井 米子



ウェルカム21

谷汲村

豊年祈願祭～谷汲踊～

2月18日

その年の豊年を祈願して

谷汲山

華厳寺に谷汲踊りを

奉納する。

「ウェルカム21」のイベントは年間300以上開催されます。

この1月から12月までの1年間、各市町村のイベントなどお知らせします。是非お出掛け下さい。

ウェルカム21可茂地区

愛のフラワーメッセージコンテスト

■イベント概要

2000年5月13日（土）・14日（日）の2日間に渡って岐阜県の可茂地区の市町村が主催する広域イベント。その中で行われる催し物の一つとして5月13日に行われます。

■ゲスト

坪内ミキ子さん（女優、コメンテーター）

■応募内容

「花とお母さん」をテーマとしたメッセージ。お母さんを花にたとえ、その愛の深さに感謝する内容の作品を作ってください。

■応募資格と規定

どなたでも結構です。原稿用紙に100字以内で表現し、送付下さい。

■締め切り 平成12年2月20日

■発表 平成12年3月中旬に入選者に通知

フラワーパフォーマンスショー

●イベント概要

2000年5月13日（土）・14日（日）の2日間に渡って可茂地区の市町村が主催する広域イベント。その中で行われる催し物の一つとして5月13日に行われます。「花の妖精コンテスト」と題し、花の美しさを元気にアピールすることをテーマとした仮装コンテストです。出演者の方々にはコントや歌など思い思いのパフォーマンスとした仮装コンテストです。

●募集内容 （1組の人数は問いません）

平成12年5月13日（土）会場にこられる方

◎PART. 1…ジュニア部門（小学生以下） 15組

◎PART. 2…一般部門（中学生以上） 15組

●応募資格 どなたでもご応募できます。

●締め切り／発表…メッセージコンテストと同じ

上記2点の応募先、お問い合わせは、下記へ

村役場又は可茂県事務所（0574-25-3111 総務課）

飛騨圏域では西暦2000年に県下のトップをきって、飛騨地域イベント「冬の飛騨民俗文化・雪と氷の祭典」が開催されます。

メインイベント期間は平成12年2月11日～14日で高山市、朝日村、河合村を会場として趣向を凝らしたイベントを繰り広げ、冬の寒さと共に生きる新しい飛騨文化を発信します。

■高山市会場

手筒花火大会 [宮川弥生橋下流 2月11日のみ]

飛騨高山水の彫刻まつり・冬の季節に育まれた飛騨の味

めぐり [高山陣屋前広場 2月11日～14日]

冬の生活体験（一位一刀彫りと民芸品作り体験・いろり体験）

・雪用衣装／雪遊び体験 [飛騨の里 2月11日～14日]

飛騨の里ライトアップ [飛騨の里 2月4日～14日 時間午後6:00～8:30]

■朝日村会場

氷点下の森・氷祭り [秋神温泉 2月11日～14日]

クリスタルロード [道の駅から秋神温泉までの沿道 2月11日～14日]

氷おもしろパーク [秋神温泉ほか 2月11日～14日]

■河合村会場

飛騨河合スノーフェスティバル2000（雪像コンクール、雪中紙漉き体験、雪中バザーなどを開催）[稻越運動場広場 2月12日のみ] 北飛騨かわい雪まつり

そのほか

■酒蔵めぐり [高山市内酒蔵8軒 1月8日～2月29日]

久瀬村

ナイターカップスラロー

ムスキー大会 2月3日

パウダースノーのスキー場

カクテルライトに照らされ

たスキーヤーたちが

シュプールを描く。



※この役場前の花壇は「Wエルカム21ぎふ中濃」キャンペーンの一環として、県の補助を受けて造られました。

information

お
し
せ

行
事
募
集
連
絡

あなたの夢を県政に

平成十二年度

「県政モニター」募集

岐阜県では「県政モニター」
を募集しています。

あなたも、モニターとなつて、意見を反映させてみませんか。

▼県政モニターの主な仕事
県政への提言や意見の提出／アンケート調査協力／地域での県政PRなど

▼県政モニターの種類
・郵送による「一般県政モニター」・インターネットを利用した「電子県政モニター」

▼応募方法
メールで、①氏名②住所お

・県内在住の十六歳以上の方
・はがき、ファックス、E
メールで、①氏名②住所お

よび郵便番号③年齢④性別
⑤職業⑥電話番号を書いて応募して下さい。

また、電子県政モニター希望（パソコンの有無）と書いてください。

▼その他

・電子県政モニターの方は
インターネット接続経費
(電話料、プロバイダー加入料、利用料)を各自負担

・パソコン未所有の方には
パソコン貸与(台数制限あり)

▼応募・問い合わせ先
岐阜市藪田南2-1-1
岐阜市藪田南2-1-1
0581-272-1111
0581-272-1111
r@govt.pref.gifu.jp
・一月三十一日(月)
当月消印有効

▼申し込み締め切り

▼応募・問い合わせ先
岐阜市藪田南2-1-1
岐阜市藪田南2-1-1
0581-272-1111
0581-272-1111
r@govt.pref.gifu.jp
・一月三十一日(月)
当月消印有効

今年は2000年、国勢調査の年です。〈総務庁〉

今年2000年は、5年に1度の国勢調査が実施される年。10月1日の午前0時現在で、全国一斉に調査が行われます。

対象は日本に住むすべての人で、赤ちゃんも外国人も含まれます。調査結果は地域や国をより良

くする重要な基礎データとなります。

調査票が配布されるのは9月下旬、提出期限は10月9日です。10月1日現在の、あなたの状況をお知らせください。



お気軽にお電話ください

結婚推進室	フリーダイヤル0120-663357	有線5148
住宅対策室	05747-8-3111(内線245)	有線5147
子育て支援室	05747-8-3111(内線112)	有線2151
広報担当	05747-8-3111(内線231)	有線2130

Netホームページ <http://www1.kani.or.jp/higashi-shirakawa>
Eメール hananoki@kani.or.jp

人口の動き

—12月末住民登録人口から—
世帯数………892世帯
人口…………3,157人
転入……………4人
転出……………3人
出生……………4人
死亡……………6人

先月と比較して1人減
昨年の同月と比較して
73人減

西暦二〇〇〇年を迎えた。昨年は、コンピュータ二〇〇〇年問題に終始した一年でもあります。年末年始も、全國各地各所でこの問題対処のため待機した人たちが多くいました。私もその一人として、生涯忘れられない年末年始を過ごしました。私は今後体験することのない出来事であった▼さて、今年は四月スタート予定の介護保険制度が最も注目される。現時点ではまだまだ不透明な点が多く、刻々と変わることを切に希望するものである。

制度の内容に先が見えない状況ではあるが、▼新聞紙上では不況と暗いニュースが幅を利かせているが、21世紀に繋げる20世紀最後の今年こそ、明るい年であることを切に希望するものである。

